

## 平成20年度 県教育委員会と県PTA連合会との教育懇談会報告

1 日時 平成20年11月5日(水) 15:00~17:00

2 会場 共用第4会議室(県庁4階)

3 参加者 県P連関係者21名 県教委 14名 合計35名

4 開会 (進行-小山教育問題副委員長)

・ 山口県PTA連合会会長あいさつ

本年度は携帯、ネットに関する講演会を総会の時に開催し、講演会のDVDを単Pへ配布して保護者に啓発。その後、各地区でも研修会を開催している。学力調査の結果については、親が危機感を持っていない。学力向上について学校と一緒に保護者も考えなくてはならない。



・ 山口県教育委員会教育長あいさつ

学力調査の結果で小学6年生は、平均を下回り、中学3年生は、やや上回っている。夢や目標を持つことやあいさつ等は全国と比べて上回っているが、1時間以上家庭学習をする割合は低い。調査結果が公表され、すぐに各市町の教育長に集まっていただいて、意見交換し取り組みの強化をお願いした。県教委では「山口県教育力向上推進本部」を設営し、取組を進めている。特に①一人ひとりの力に合わせた指導②学校運営の体制強化③教員の資質向上④家庭との連携などを図りたい。



5 教育懇談会趣旨説明(重岡教育問題委員長)

- ・ 県教育委員会の取り組みについて保護者として、分からないこと、知らないことがたくさんある。この会をとおして、学習を積み重ねて県教委と共に協力していきたい。

6 教育懇談会

### ○県教委の説明項目

(1) 携帯電話やインターネットの利用について

- ・ 学校内への携帯電話の持ち込みについては、実態や地域の実情等を考慮した上で判断してるが、県内のほとんどの小・中学校で、原則として持ち込み禁止とした携帯電話の取扱方針が示されているとの報告を市町教委から受けている。また、方針が明確化されていない一部の学校においても、学校や地域の実態に応じた携帯電話の取扱いに関する指針を、保護者への周知・協力のもとに定めるように市町教委を通じて指導している。

(2) 特別支援教育の推進について

- ・ 原則5障害に対象とする総合支援学校や特別支援教育センターの設置など、山口県らしい特別支援教育の推進に努めている。

(3) 校舎等の耐震化について

- ・ 県内の公立小中学校の耐震化率は全国46位と低い状況にある。現在、18市町で耐震化推進計画が出されている。国の財政支援などで、補強工事を進めていく。

(4) 学校の統廃合や小中一貫校について

- ・ 学校の統廃合は、市町が地域の実情を踏まえて判断する。小中一貫校の設置は、現在予定はない。

(5) 各学校へのAED設置について

- ・ 10月現在、小学校で約70%、中学校で約80%の設置率となっているが、続いて100%の設置を目指す。

P T Aからも要望をしてほしい。また、利用について講習会も広めていきたい。

(6) 部活動における外部指導者の活用事業について

- ・ 公立中学校・高等学校における運動部の活動に対して、専門的な技術指導力を備えた指導者を派遣することにより、運動部活動の充実や競技力の向上を図るとともに、地域社会との連携を深める。

①専門的な技術指導ができる教職員のいない運動部

②地域の優秀指導者を派遣し、一層の競技力向上を図ることが適切な運動部

(7) 家庭教育の充実について

- ・ 平成18年度から、おやじの会連絡会を組織し、活動を支援しているが、現在123団体、P T A主体は109団体あり、自然体験や学校の環境整備を行っている。11月29日には「おやじの学校」を開催し、情報交換などを予定している。また、本年度の「家庭の元気応援キャンペーン」では、「お手伝い」に重点をおいている。2月22日に子どもの生活リズム向上全国フォーラムを開催する。

(8) 管理職の人事異動等について

- ・ 管理職の一枚あたり平均在任期間は約3年である。各学校の教育課題の解決と学校組織の一層の活性化のため、今後とも管理職の適切な人事異動に努めてまいりたい。

## ○県教委との意見交換項目

(1) 「山口国体と全国障害者スポーツ大会」について

- ・ 子どもたちができるボランティアの内容、要請などを知りたい。

(来年度から花いっぱい運動がスタートし、小・中学校でも国体推奨花の栽培に取り組んでいただく。また、クリーンアップ運動など、子どもたちが活動できる体制を作りたい。)

- ・ 国体を通して子どもたちに何を望むのか。

(スポーツ好きの子どもたちが一人でも増え、一人でも多くの子どもたちがスポーツを実施する「する」スポーツ、県選手団を応援する「みる」スポーツ、国体をボランティア活動等で「ささえる」スポーツを、体験することにより、生活の中にスポーツを取り込み、自ら選んで楽しむことができる子どもたちが増えるように期待する。)

## (2) やまぐち総合教育支援センターについて

- ・ 学級崩壊などの件で学校支援サポート体制はどうなっているのか。発達障害についての程度相談があるのか。また、やまぐち総合教育支援サイトは、保護者も見ることができるのか。

(学校だけでは、対応が難しい課題については、学校サポートチームを派遣している。発達障害のある子どもの支援等については個人相談、学校訪問、サテライト研修などを実施している。やまぐち総合教育支援サイトには、「保護者のページ」や「子どものページ」もあるので、ぜひ御覧いただきたい。PTAからもPRをしていただければ幸いである。)

## (3) 学力向上対策について

- ・ 今までの学習指導要領はどういう点が問題なのか。今後のゆとり教育の方向性はどうか。先生の定数の問題、先生の質についてはどうか。学校図書において読書の推進、司書教諭を充実してほしい。

(児童一人ひとりに目を向け、繰り返しの学習、基本の活用、レポート作成など、計画に基づき進めている。家庭学習の働きかけをお願いしたい。先生の数の件は、非常勤講師の配置、管理職、教職員の人材育成を図っている。学校図書司書の件は、国へ要望をしていく。県内の46の図書館とシステムの充実、連携を強化している。)

## 7 閉 会

### (1) 山口県PTA連合会副会長あいさつ (名護谷副会長)

